

恵友

医療法人恵友会

霧ヶ丘つだ病院
 ほととホーム霧ヶ丘
 恵友会デイサービスセンター
 訪問看護・ヘルパー
 ケアプランステーション



『富士山と田貫湖』

休暇を使って、富士五湖周遊の旅に出かけました。写真は早朝の田貫湖で、朝日染まった富士の山容と湖面に映える逆さ富士を捉えたものです。前夜の雨が上がって未明の富士は、風も止んで神々しく厳粛な姿を現わし、身が引き締まる思いがしました。
 (撮影 檜橋 晋一)

理 念

私たちは、質の高い、やさしい医療を提供します。

基 本 方 針

1. 医療の質：常に自己研鑽に努め、医療の質の向上を目指します。
2. 専門特化と地域での役割：呼吸器の専門病院として専門性を高めるとともに、地域のかかりつけ内科病院としての役割を果たします。
3. 患者さん中心の医療：患者さんの「権利と意志」を尊重し、患者さんが納得して「参加」できる医療を行います。
4. チーム医療：すべての分野の職員が参加するチーム医療を「やさしさ」を持って実践します。
5. 安全と安心：患者さんが安心して穏やかに治療できる環境を提供します。
6. 予防から治療、在宅療養まで：地域のみなさんが安心して在宅生活が送れるよう、治療だけでなく予防から在宅療養までサポートします。

恵友会この一年

・・・みなさまに支えられ

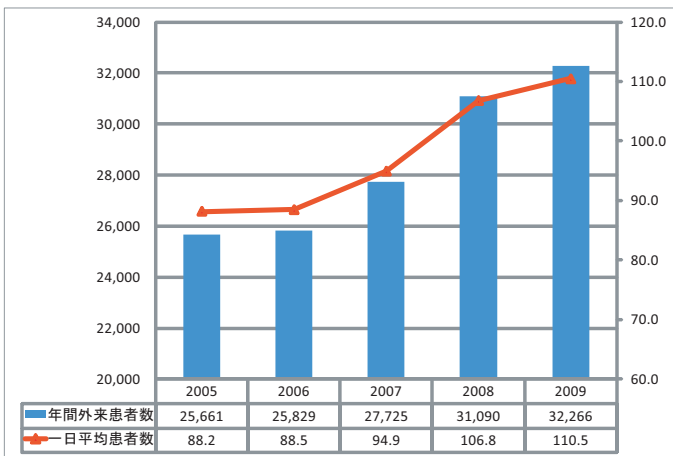


4月から新しい年度（2010年度）が始まりました。医療・介護を取り巻く環境は相変わらず厳しく、社会環境も数年来の不況の影響で暗い状況が続いていますが、恵友会は、新年度もスタッフ一丸となってがんばってまいります。

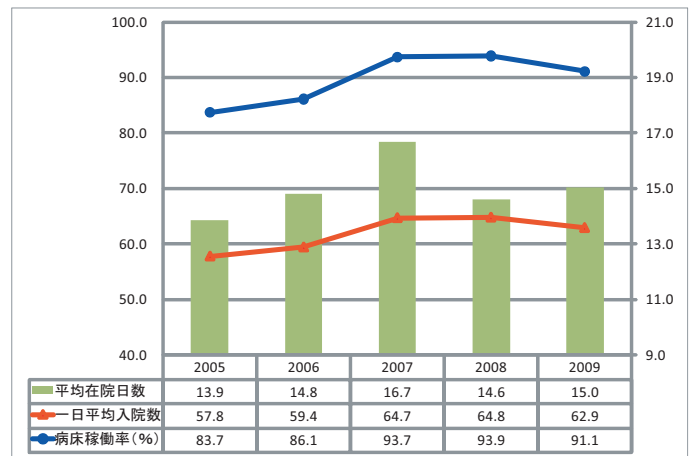
今回は、新年度の開始にあたって前年度の活動実績のまとめを行いましたので、ご報告いたします。

■患者数の推移

2005年の新病院移転開院以来、外来・入院ともに患者数は増加しています。2009年度のトピックとしては、リウマチ外来の開始、睡眠障害の検査としてMSLT、MWT検査への対応を開始しました。



外来患者数の推移

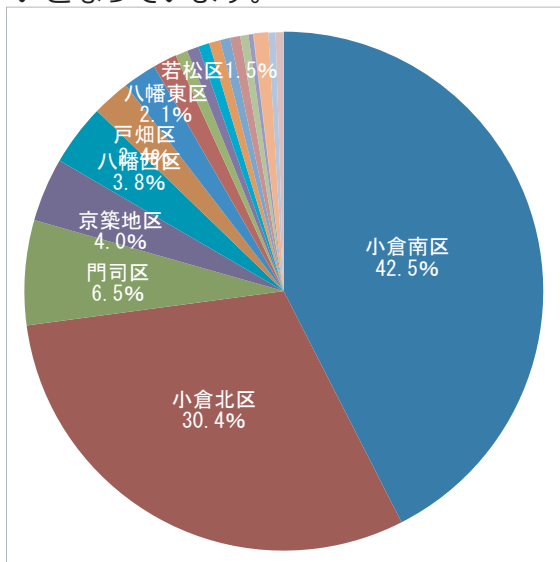


入院患者数、稼働率、平均在院日数の推移

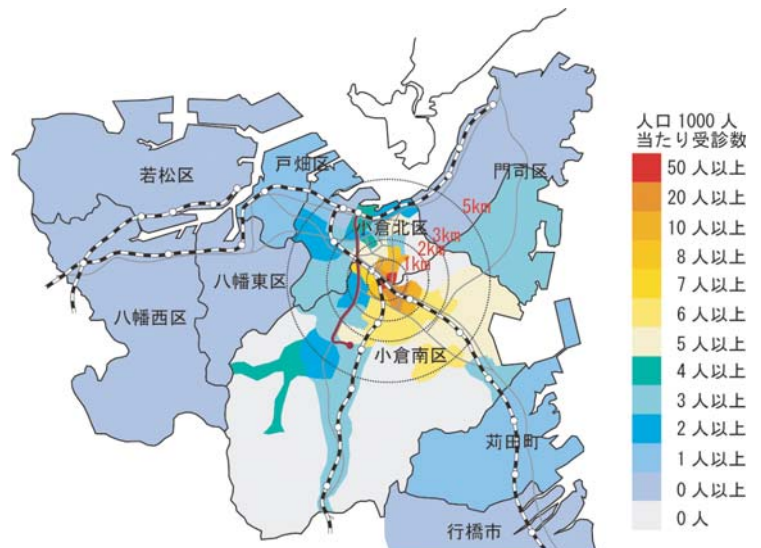
■患者分布

外来患者さんはどこから当院に来られているのでしょうか。当院の位置（区の境界）の関係から小倉北区と南区の患者さんで約3/4を占めています。一方で、専門（呼吸器疾患及び睡眠障害）外来では市内遠隔地や市外、隣県から受診されている方もいらっしゃいます。（下左図）もう少し詳細に見ますと、病院所在地の霧丘校区を中心に当院へのアクセスに便利な地区で患者さんが多いことが分かります。

（下右図）全患者さんの内、8人に1人の方が霧丘校区、3人に1人の方が半径2km以内にお住まいとなっています。



外来患者分布

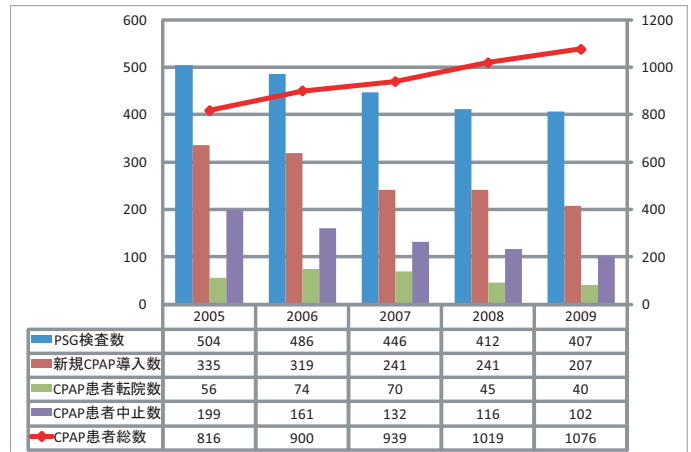


人口1000人当たりの当院外来患者分布

■睡眠呼吸センター

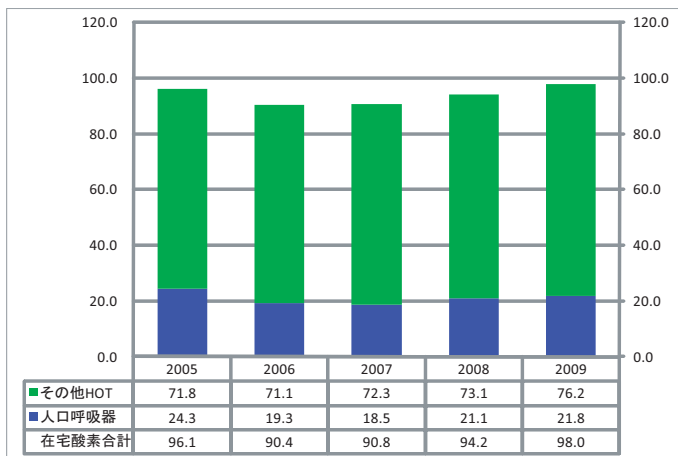
PSG検査は、睡眠時無呼吸症候群に対し世間の興味が薄まったことと、簡易検査の普及によって一時期に比べ減少しています。治療であるCPAPを使用されている方の数はゆっくりと増加しています。現在では、外来の2.5人に1人が睡眠時無呼吸症候群の患者さんとなっています。

その他、MSLT検査（眠気がどれくらい強いかを調べる）を19件、MWT検査を2件実施いたしました。



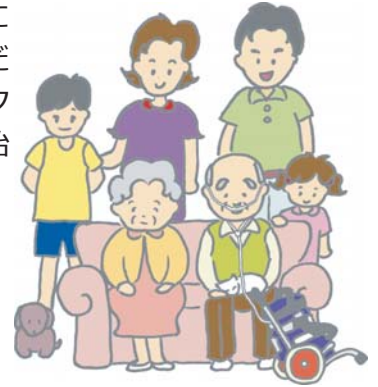
PSG検査数とCPAP患者数の動向

■在宅酸素療法患者数



在宅酸素療法患者数の動向

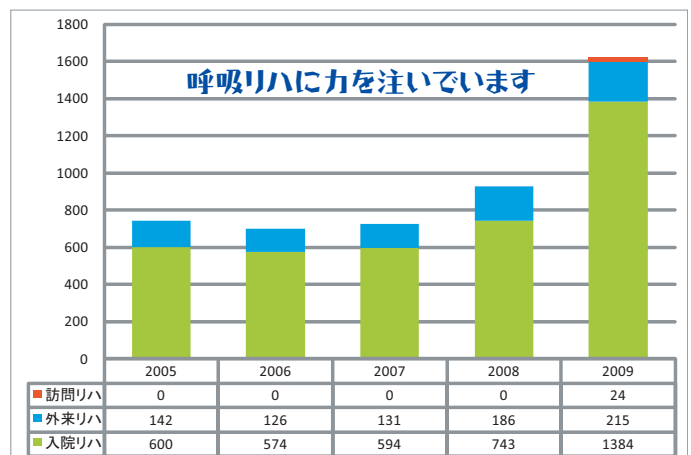
当院で在宅酸素療法を行っている患者さんは、90～100人いらっしゃいます。北九州市には約1000人の在宅酸素患者さんがおり、10人に一人が当院におかかりです。治療だけでなく、バスハイクを春と秋の2回（開始以来毎年2回実施し、これまでに22回）実施しました。



■リハビリテーション

2009年度より理学療法士を6名に増員し、手厚いリハビリが実施できる体制としました。また、通院できない患者さんのため、訪問リハビリを開始しています。

内訳は、当院の特徴である呼吸リハビリが90%を占めています。



月平均のリハビリ単位数の動向

■治験

呼吸器と睡眠の専門病院の使命として、当院では大学などとの研究協力の他、新薬の開発（治験）に積極的に関わっています。2009年度中には5件の治験が終了しましたが、現在（2010年度）も8件（COPD、気管支喘息、睡眠時無呼吸症候群、不眠症、レストレスレッグス症候群、線維筋痛症）の治験を実施中です。新しい薬は、これから3～5年後に発売される薬であり、患者さんにとっても進化した薬であり、メリットがあります。

当院では「食」を大事にしています

栄養科では

患者さんに満足していただけるよう、スタッフ一同、日々心を込めた食事サービスに取り組んでいます。

また、NST(栄養サポートチーム)委員会では、医師・薬剤師・看護師・理学療法士とチームを作り、患者さん個々の栄養管理計画・評価に基づいた食事提供を目指しています。



病院設立以来の理念を大切にしています

- 患者さんが食べれるものを
 - 給食は外注にせず、給食スタッフも自前で
 - だし汁は昆布から
 - 冷凍加工食品や出来合いの食品は使用しない



厨房の風景

当院の病院食の特徴は？



松花堂弁当雑祭り御膳

【天然だし】 こんぶ・かつお・いりこ・烏ガラなどを使用し、素材本来のおいしさを提供します

【彩り】 目でも喜んでいただける彩りの良い食事を心がけています

【季節感】 旬のおいしい食材を使い季節感を大切にしています

【行事食】 松花堂弁当、行事食くお正月や七夕などで楽しんでいただけるように工夫しています

栄養指導を行っています

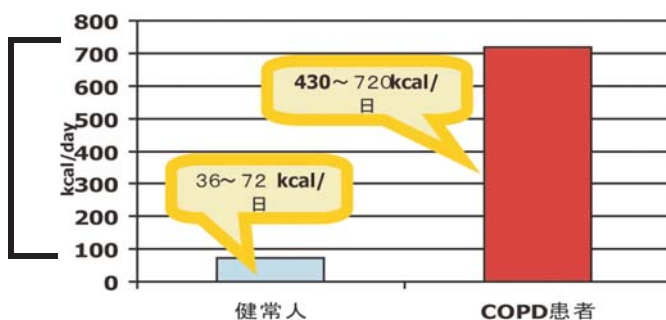
栄養科では、慢性呼吸器疾患の患者さんに対してどのようなアプローチが必要なのかを常に考えながら取り組んでいます。その中で現在「痩せるため(ダイエット)」と「**太るため**」の両方の栄養指導を行っています。

「**太るため**」の栄養指導とは？——— 慢性呼吸器疾患の患者さんは呼吸をするだけでもカロリー消費が著しいのですが、運動量が少ないためにお腹が減らず、食事量も減ってしまう傾向にあります。健康な人と同じ程度のカロリーをとった場合でも、呼吸に必要なカロリーの増加分を摂取しない限りは1ヶ月に約2kgの体重減少が生じてしまいます。(下図のように、**1日に呼吸を行うだけのカロリー消費は健康な人の約10倍以上にもなります。**) 栄養科では、このような原因で起こる体重減や低栄養状態の予防・改善として、「**太るため**」の栄養指導にも取り組んでいるのです。

健康な人とCOPD患者さんの呼吸カロリー消費の比率



約10倍



Brown and Light 1983

左図の健康な人とCOPD患者さんの呼吸カロリー消費の差は、例えばおにぎり1~3個分や肉うどん1杯分のカロリー差になります。



肉うどん1杯分 おにぎり1~3個分

ＣＯＰＤ患者さんに対して食事以外で効率良く栄養摂取をしていただく方法を試行錯誤し、現在は経腸栄養剤（エンシュアH）と野菜ジュースや果実などをミックスした**特製ドリンク**を提供しています。結果として、特製ドリンクを利用している患者さんの**9割**は体重・栄養値ともに増加・改善が見られ、また、特製ドリンク自体も患者さんから飲みやすいと好評を得ています。



給食運営会議で試作中

特製ドリンク材料（一例）

- ・エンシュアH 1/2缶
 - ・野菜ジュース 10cc
 - ・紙コップ
- （1杯＝200kcal）



野菜ジュース10cc



エンシュアHを注ぐ



混ぜて出来上がり

また、当院では睡眠時無呼吸症候群や肥満症の患者さん、高脂血症・糖尿病・痛風などで特別食が必要な患者さんにも個別の栄養指導を行っております。



🍌 チーム医療での取り組み



病棟カンファレンス



NST(栄養サポートチーム)



病棟回診

多職種と連携して、それぞれの入院患者さんに合った栄養管理業務ができるようカンファや病棟回診等にも積極的に取り組んでいます。今後も患者さんと協力して、栄養面のサポートをお手伝いさせていただきます！

🌍 全国の患者さん向けにパンフレットを作成しました



当院の呼吸/ハ・栄養チームです

帝人ファーマさんのご依頼があり、慢性の呼吸器の病気で療養されている方に対する食事のコツをまとめた18ページのパンフ作成に協力いたしました。5月より全国の患者さんに配布が可能となります。

食べることは本来、楽しいことです。

しかし、呼吸器の病気で長期にわたって療養されている方は、息切れがあることや食事をするとながら咳が出るなどから、食べることがつらくなっている場合が少なくありません。

ちょっとした工夫で「食べることの楽しさ」を思い出していただければと思います、このパンフレットをつくりました。

- ・美味しく食べるために、早起きをして体を動かしましょう☆
- ・美味しく食べるために、好きな音楽を聴いたり、香りを楽しんで、リラックスしましょう☆
- ・美味しく食べるために、お友達や仲間と積極的にかかわりましょう☆

このパンフレットが、皆さんの前向きな食生活に役立つことを、心より願っています。



バスは行く！ 第22回～別府温泉・ホテル白菊の旅

2009年10月7日 参加者 22名
スタッフ 8名

今回バスハイクの目的地となったのは大分県別府市にある別府温泉ホテル白菊♪
このホテル白菊は「5つ星の宿（人気温泉旅館250選に通算5回（年）以上入選）」の実績を持つ一流のホテルです。

当日はあいにくの雨でしたが、そのような天気も風情ある落ち着いた館内と一体化してとても良い雰囲気でした。昼食は和のフルコースを堪能し、お土産コーナーでは郷土ならではの珍しい品やホテルオリジナルの品など、日頃見かけることのない物も多く、皆さんお買い物にも一所懸命になっていました♪ 雨天の中、おつかれさまでした！

年2回のバスハイク企画ですが、病院内ではできない関わりが持てたこと、それがとても新鮮で、私自身にとって新たな発見ができた部分もありました。実際の企画・進行・盛り上げ役は大変なことですが、参加している皆さんの笑顔を得ることこそが参加者と医療者にとっての医療（癒し）になるのではないかと感じました。

理学療法士 金田 留美

今回、初めてバスハイクに参加させていただきましたが、普段行くことのないような場所での皆さんの笑顔がいつも以上に輝いて見えました！バスハイクはいろいろな物や人とふれあい、気分転換をするにはとても良い機会だと実感しました。今後ももっと多くの人たちやご家族にこの機会を知っていただいて参加して欲しいと思います。

介護福祉士 松本 真由美



2009年 病棟クリスマス会



昨年も12月25日に病棟クリスマス会を企画いたしました☆
今回は、初めに院長から「クリスマスがどうやって始まったのか」という話があり、その後はボランティア歌声クラブの『富野歌声クラブ・MOK歌声クラブ』をお招きして唄のミニコンサートを披露していただきました。
手話をしながら唄を歌ったり、ハンドベルを使って皆さんと一緒にリズムをとったり、唄に合わせて頭と体の体操をしたりと昨年とはまた一味違う感じで盛り上がりました♪♪



入院患者さんたちも一緒に唄に合わせて口の体操や、身体を使ってリズムをとったりなど良い運動になりました♪
歌を聴いて昔を思い出し、涙する方もいらっしゃいました☆

ハンドベルや鈴を使ってクリスマスソングの合唱♪院長先生も患者さんと楽しそうに踊っていました☆ その後はティータイムでゆったりとくつろいでいただきました。。。



トピック ディスカバリーCOPD

COPD(慢性閉塞性肺疾患)は別名タバコ病や生活習慣病と呼ばれ、2007年の統計ではCOPDによる死亡数は喘息死の約6倍にも増加しています。しかし、いまだにCOPDという肺の病気の認知度は低く、2005年の厚生労働省統計によると、実際に治療している患者さんは全国の推定患者数の5%に満たないと言われています。



そこで、COPDに関する専門医が協力して2015年までにCOPD診断率25%以上を目標に発足したのが「ディスカバリーCOPD研究会」です。この会では、2010年1月より年間約400回のセミナーを開催し、治療に取り組む意義を訴えていく活動を行っています。このディスカバリーCOPD研究会に当院も積極的に関わっており、院長の津田 徹もセミナーの講師を担当します。

トピック 忘年会2009

昨年末の忘年会も例年同様の盛り上がりで、院長を始め、各部署スタッフも出し物のために練習を積んできた様子でした☆

美味しい食事と愉快な出し物で1年を無事に締めくくることができ、これからも患者さんに優しい医療を提供し続けることができる病院であるよう精進してまいりたいと思います！



トピック 連携室だよ!

地域の医療機関や介護・福祉施設と連携をとりながら患者さんに安心して診療を受けていただけるようお手伝いをいたします。

看護・療養に関するご相談、社会福祉制度に関するご相談、在宅に関するご相談など、様々なニーズに対応したいと考えております。ぜひ、地域医療連携室をご利用ください。

霧ヶ丘つだ病院 地域医療連携室

Tel.093-921-0438

Fax.093-921-0439



— スタッフ —

看護部門	中山 初美 (看護部長)
医療福祉部門	末松 利加 (医療ソーシャルワーカー)
	平原可奈子 (医療ソーシャルワーカー)
事務部門	廣畑 正己 (事務部長)
	坂上 香代 (医事課)
	横佐古真喜 (医事課)

外来担当のご案内

【外来担当表】

2010. 4. 1

下記の担当医は、都合により変更になる場合がございます。その場合は他の医師が診察いたしますのでご了承ください。
水曜の夜は19:30まで一般内科外来を受け付けています。勤め帰りの方もご利用ください。

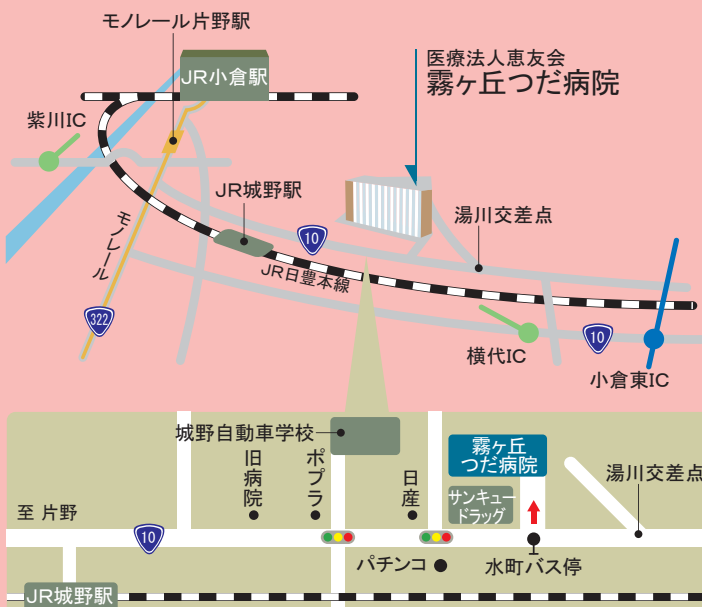
	午前 (9:00~12:00) 受付は11:30まで	午後 (14:00~17:00) 受付は16:30まで	(17:30~20:00) 受付は19:30まで
月	津田 徹 浅井 友香里 [九大呼吸器科] (良永 倫子)	一木 克之	
火	津田 徹 一木 克之 良永 倫子 (10:00~)	リウマチ外来 加茂 洋志 自見 勇郎	
水	午前外来休診	喘息・呼吸器外来 井上 博雅 [九大呼吸器准教授] 山本 真基子	一般内科・呼吸器外来 津田 徹 (一木 克之) 一般内科・糖尿外来 市野 功 [九州労災病院]
木	津田 徹 良永 倫子 自見 勇郎 (10:30~)	喘息・呼吸器外来 相澤 久道 [久大1内科教授] リウマチ外来 加茂 洋志 自見 勇郎	
金	津田 徹 一木 克之 山本 真基子 (10:30~)	坂崎 優樹 [久大1内科]	
土	自見 勇郎 / 一木 克之 [隔週] 山本 真基子 / 坂崎 優樹 [交替] 睡眠呼吸障害優先外来 津田 徹 [第1, 3, 4土曜] 北村 拓朗 [第2土曜]	(注) 院長の外来診療は、予約制となります。	

※月に一度、最初の診察日には**保険証**を忘れずご持参ください。

※日曜、祝日、土曜午後、水曜午前は休診です。(その他の休診日については、その都度掲示致します)

※睡眠呼吸障害外来の初診は月~土の全診療時間で行っております。

※当院にお掛かりの方で喘息の発作その他緊急時には、夜間でも電話(952-1304)をかけてご来院ください。



医療法人恵友会
霧ヶ丘つだ病院

ほっとホーム霧ヶ丘
恵友会デイサービスセンター
訪問看護・ヘルパー・ケアプランステーション

発行日 : 2010年 4月 1日

編集発行人 : 松田 和人

発行所 : 医療法人恵友会

〒802-0052

北九州市小倉北区霧ヶ丘3-9-20

Tel. 093-921-0438 Fax. 093-921-5988

ホームページ : www.k-you.or.jp

メール : info@k-you.or.jp